

## ■日本超音波検査学会 画像コントロールサーベイ設問評価指針

### 1. 評価領域および出題内容

腹部，心臓，血管，体表，健診の5領域を評価対象とし，2年を1クールとして，1回の出題数は各領域で10問，2年で20問の問題を出題することとする．各領域における出題内容（臓器など）は2年1クールで偏ることなく，さらに抜けることなく網羅すること．設問は各領域の問題作成委員が別に定める手引きに沿って作成し，出題基準は以下のとおりとする．

- 1) 基本的には知っておかなければならない問題であること
- 2) 手技的な問題を必ず含むこと
- 3) 希少例でも知っておくべきと考えられるもの

### 2. 設問の校正および画像編集

作成された問題は領域委員でチェックを行ったうえで使用を決定する．必要に応じて問題作成委員に加筆修正を要請する場合のほか，作成した委員本人にことわりなく内容の修正，画像の差替えなどを行う場合がある．

出題画像にはJSSロゴマークを挿入し著作権の存在を表示する．

### 3. 評価対象除外の対応

解答開始後，設問に不備が発見された場合には，迅速に内容を当該領域委員に照会し，評価対象から除外するかどうかを随時決定する．

#### <評価対象除外>

画像の不備や設問の誤記等，出題意図が達成できていない設問は評価対象外とし，正答・解説の表示は行わず，

「<理由>により設問が出題意図に適合していないため本設問は評価対象外とします」などと表示する．

ここには選択肢の解釈の相違に関するものは含まない（問題の適切性の検討へ）．

### 4. 解答期間が終了し，参加者からの答案提出が確認された後の作業

本作業は，システムの統計画面より算出される各設問の正答率と識別指標を目安に行う．

#### 1) 設問内容が適切か否かの確認

以下に該当する設問がないかを確認する．

- ・正答率が60%を下回る設問
- ・識別指標（※）が0.20を下回る設問（特にマイナスとなっている設問）

(※) 識別指標について

成績上位者と下位者の正答率より算出される 1.0~-1.0 の間の数値.

上位者が正解し下位者が誤答するという優劣判定についての適否の指標で,

全員が正答 (または誤答) や上位と下位が逆転などで低値 (マイナス化) となる.

2) 上記に該当する設問がある場合

A. 適切とする場合

(A-2) 解説文を補足すべきかどうか

(A-3) 解説文を補足する場合にはその解説文の作成

B. 適切としない場合

(B-2) 正答を追加して対応するか不適切問題として評価から除外するか

(B-3) 正答を追加する場合にはその正答と対応する解説文の作成

上記の対応を当該領域委員において検討し, 領域リーダーが外部精度管理部会長

に報告する. 報告内容を部会長が確認後, 当該領域リーダーが設問管理システムに反映する.

<領域委員で意見が一致しない場合>

外部精度管理部会で検討し対応を決定する.

必要に応じ精度認定プロジェクト委員会等で協議することもありうる.

<検討についての考え方>

正答率や識別指数は設問の妥当性を評価する参考資料である. 知っておくべき基本的事項を確認するための設問の場合は, 成績の優劣を評価する試験とは性質が異なることを認識して検討する.

5. 質問等への対応

質問等は参加施設の代表会員に限って受け付け, 会員個人からは受け付けない.

質問の際には, 施設名, 施設 ID, 代表会員名と質問事項の記載を必須とする.

質問等への回答は原則として行わない.